

SDGs(持続可能な開発目標)行動計画

【令和4年度上半期】

重点目標	取り組み	JAの取り組み・行動(重点は太字)	SDGs目標	行動計画		進捗管理		担当部署
				令和4年度目標	令和4年度上半期実績	改善策・今後の取り組み		
1 地域の「農業」を守り、将来にわたって持続可能な農業を目指します。	持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます。	直接販売の強化		販売高3,000万円	184万円	6月直販係を設立し、既存取引先実需者向けの園芸(下期に出荷適期を迎える梨、イチジク、ダイコン、キャベツなど)及び精米販売の拡大を進めます。	経済部	
		農産物ロスの削減(加工原料の販売)		梨30t、イチジク1t、ダイコン100t	ダイコン33t	梨・イチジク・秋冬ダイコンともに、出荷開始後に始動予定。	経済部	
		品目集約の肥料等の提供(生産コストの削減)		50t	30t	世界情勢が不安定ななか、肥料価格の高騰や入手困難な状況にあることを踏まえ、情報を集約しつつ、銘柄集約肥料だけではなく肥料の確保に努めます。	経済部	
		主要作付け面積の維持		水稲2,280ha、ダイコン200ha、梨43ha、イチジク5ha	調査中	作付け調査結果に基づき、農業者の所得向上と生産規模の維持・拡大に向けた支援活動を継続実施します。	経済部	
		労働力確保の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ○無料職業紹介事業の継続実施 ○梨ボランティア育成事業、酪農ヘルパー事業の継続 ○鉄、パレットコンテナ出荷件数の普及・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○無料職業紹介事業を継続(6月末現在掲載件数:5件)。 ○令和4年4月より第11回梨ボランティア育成事業(帰農塾)を開講。市農林業振興課と連携し、応募者12人を育成中。既存ヘルパーの調整・派遣を継続・実施しました。 ○コンテナ出荷については、キャベツを中心に生産者・販売先と協議し、普及に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○無料職業紹介事業の認知度を高め、利用件数および応募・成約件数のアップを図ります。 ○梨ヘルパー・酪農ヘルパーの派遣を継続し、生産者の労働力支援をすすめます。 	経済部	
		後継者・新規就農者支援 農業従事者への各種支援		<ul style="list-style-type: none"> ○行政、各部門一体となった新規就農者・後継者への訪問活動 ○各種研修会の実施: 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ○市原市農業振興協会と連携し、圃場訪問(梨・自然薯)による技術指導と意見交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、梨の後継者や自然薯若手生産者、新規就農者への訪問活動を実施します。 ○品目別に研修会を開催し、栽培技術支援を行います(梨・イチジク・ダイコン)。 	経済部	
		農業リスク診断活動		300戸	診断・提案件数32件	引き続き、農業リスク低減に向けた提案活動を実施します。	共済部	
		地域の「食」を守り、環境にも人にも安全・安心な農畜産物を供給します。	環境保全型農業の実践		<ul style="list-style-type: none"> ○有機肥料の普及 ○環境保全型農業の実践、普及: 15農家 	<ul style="list-style-type: none"> ○有機肥料の推奨品目の選定などをすすめました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学肥料高騰の折り、肥料費低減の観点から有機肥料の活用を推奨していきます。 	経済部
		土壌診断の実施と拡大		土壌診断(肥料・農業の適正利用) 300戸	105戸	継続実施(施肥量の最適化と無駄のない肥培管理につなげます)。	経済部	
		食農教育の実践		<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食への食材提供: 17品目 ○農業体験の提供: 1カ所以上 ○小学校向け実践型指導: 1校 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食への食材提供: 8品目 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食への食材提供: 延べ17品目(予定) ○10月農業体験(芋掘り)開催予定。 	経済部	
		消費者へ安全・安心な農産物の提供と情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ○残留農薬検査: 15品目 ○GAP、HACCPの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○残留農薬検査: 3品目 ○GAP、HACCPの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○残留農薬検査: 5品目実施予定。 	経済部	
		2 総合事業の強みを発揮し、地域の「くらし」を守ります。	安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献していきます。	総合事業によるインフラ機能提供(金融・共済・生活店舗・直売所・GS・葬祭)		<ul style="list-style-type: none"> 【信用】 ○再生エネルギー購入支援: 5件 ○住宅ローン: 実行金額45億円、農業融資: 実行額1.5億円 【共済】 ○3Q訪問活動: 組合員世帯の80% 	<ul style="list-style-type: none"> 【信用】 ○再生エネルギー購入支援: 0件 ○住宅ローン: 実行金額2,517百万円、農業融資: 実行額46百万円 【共済】 ○3Q訪問活動: 7,951件 	訪問活動を中心とした継続実施。
組合員の健康増進活動				受診者: 200人	○受診者: 224人	下期開催分の準備・周知をすすめます。	経済部	
「対話」に基づく「食と農、地域」を守るJA経営の強化	女性組織の活動支援、若手加入促進				<ul style="list-style-type: none"> ○農家レストランの支援: 年2回 ○若手加入促進運動: 1組織 	○農家レストランの春季運営支援(4~5月)。	○農家レストランの秋季運営準備。	経済部
准組合員の意見反映				<ul style="list-style-type: none"> ○准組合員の意見反映を図るため、意見集約ルートの整備と参画機会づくりの検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○准組合員向け広報誌を創刊(6月上旬)。JA事業・協同活動等について改めてご案内しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○准組合員向け広報誌2号を発行(10月目途)。誌面を通した意見集約方法を検討・実施します。 	経営企画部	
対話に基づく情報提供・組織運営				<ul style="list-style-type: none"> 組合員・担い手への役員訪問活動: 200人 	(実績なし)	7月上旬より、認定農業者等への訪問活動を展開いたします(訪問予定数:127人)。	経営企画部	
女性管理職の登用促進		女性管理職比率30%(令和6年度目標値)	女性管理職割合 27.3%(21人)	資格認証試験の受検督促を通し、管理職候補者の量的増加を進めます。	総務部			